

多機能性新規ベリー、オビルピーハの生態および根粒着生

グミ科の小果樹 *Hippophae rhamnoides* L. のうち、シベリア原産のロシア系統 (ssp. *mongolica*) はオビルピーハと呼ばれています。オビルピーハは他の系統に比べてビタミン A、C、E や多機能性成分が多いことが明らかとなっています。また、根には空中窒素を固定する根粒菌が共生しますので、耕作放棄地でも良好に生育すると考えられています。

オビルピーハは国内で栽培された例が無いいため、生態・生理などは不明でしたが、陸前高田市総合営農指導センターでオビルピーハの栽培に成功しましたので、その生態や根粒の着生状況を明らかにしました。

【1 成果概要】

(1)オビルピーハ（ロシア系統）はヨーロッパ系統と開花期に大きな差はありませんが、収穫期は1ヶ月程度早くなります。

表1 ロシア系統（オビルピーハ）とヨーロッパ系統の生態

	発芽期	開花期	収穫期	落葉期
ロシア系統	3 / 25	4 / 24	7 / 31	11 / 1
ヨーロッパ系統	3 / 29	4 / 25	8 / 24	12 / 7

陸前高田市における雌樹の2005年および2006年の平均値

(2) 根粒はオビルピーハの主幹からの距離75cmまでの範囲に多く着生します。25cmよりも深い土層には認められません。



図1 オビルピーハの根粒着生状況

【2 留意事項】

- (1) 本成果は陸前高田市が東北大学を通じて導入し、平成13年に定植した実生系統を用いた結果です。
- (2) 収量や詳細な栽培方法については研究中です。